



## 関連分野

労働雇用法  
移民法&国際人事

## ウェビナー

### ブーメラン効果？バイデン・ハリス政権下での移民政策展望

## 開催日時

2020年12月17日

2 p.m.-3 p.m. (Eastern)

## 講師



**メルセデス バディ  
ア - タバス**  
パートナー



**マイケル E. ダー  
ラム**  
パートナー



**サラ J. ホーク**  
パートナー



**テージャス シャー**  
パートナー

バイデン・ハリス政権が米国の移民政策にどのような変化をもたらすのか、多くの推測が飛び交っています。移民政策は今回の政権交代によって最も影響を受ける分野と言えるでしょう。対話形式のプログラムにより、バーンズ & ソーンバークのパートナー弁護士らが以下の点について解説いたします。

- トランプ政権発足以降の米国のビジネス移民法上の政策の最大の変化についてまとめ、バイデン・ハリス政権により方針が転換される分野や維持される分野を特定します。
- トランプ政権が政権移行期間中に確定させようとしているH-1Bプログラムに関する規制の現状と内容について確認します。
- 新政権の主要な立法上、規制上及び非規制上の優先事項を特定します。
- H-1Bの抽選に関する見通しについて議論します。

ウェビナーはすべて英語で行われます

1.0 hour CLE credit pending. This program is valid for 1.0 PDCs for the SHRM-CP® or SHRM-SCP®.

Questions? Contact Courtney Brown at [cbrown@btlaw.com](mailto:cbrown@btlaw.com) or 317-231-7312.

ウェビナーに関しましてご不明な点がございましたら[japaneseinfo@btlaw.com](mailto:japaneseinfo@btlaw.com)までお気軽に日本語でご連絡ください。